

近隣住民との共存に注力

多方面の取り組みを実施

日伸鉄工建設(京)

鉄骨加工の工程上、大きな騒音が発生するファブにおいて近隣住民との共存は各社の大きなテーマだが、人口密集地の東京都葛飾区に工場を置く日伸鉄工建設(金本貴範社長、Mグレード)ではさまざまな取り組みを行っている。同社は東京の住宅街、葛飾区新小岩にあり、隣接地にはマンシ



H形鋼の重さ当てクイズ

の共存に向けたさまざまなアイデアを、昨年11月に工場を自社施工で改修、耐震ブレースを設置するとともにマ

ンシオン側を遮音壁にして住民トラブルの原因となりやすい騒音対策を講じた。一方、工場や企業、業種を積極的にPR。通りに面した壁面には関係した物件を紹介しているほか、実際に触れて持てる100gで切断したH形鋼の重さ当てクイズを設置している。

金本社長は「男性職員の多いファブは武骨で近寄りやすい印象を持たれがちだ。近隣住民にわが社がどんな会社なのかを知ってもらうこと、福祉支援などを通じた『やさしさ』、災害時には技術や機材を生かした『安全』の提供。これらを柱



ボトルキャップ回収

にこの地で企業の永続を目指す」と語る。

地域貢献は荒れたゴミ集積所の管理、ポリオワクチン寄付のためのボトルキャップ回収、災害時の希望者を対象とした電気供給など多方面にわたる。金本社長は「ボトルキャップ回収は近隣住民が積極的に協力してくれる。わが社の取り組みをしつかりと見てくれるようだ」と手応えを感じている。今後は役所と協力し、子ども食堂支援などを行う予定だ。